

# 近畿の未来を見つめて、新しい地域づくりを考える News 近畿圏広域地方計画 ニュース

2007.12 vol.1



国土交通省 近畿地方整備局  
近畿圏広域地方計画推進室  
TEL. 06-6942-1141 (代)



10年後のより良い近畿圏を目指す近畿圏広域地方計画の策定作業が、国の地方支分部局、府県、政令市、主要経済団体などの協議で進んでいます。

去る10月22日には、冬柴鐵三国土交通大臣を来賓に迎えて第3回近畿圏広域計画検討会議が開催され、近畿圏広域地方計画の方針となる、「近畿圏の目指す姿」がおおむねまとまりました。

皆さんが暮らす近畿圏の将来像を描くものとなる、近畿圏広域地方計画の内容や策定に至るまでの状況を皆さんに知っていただくために、このたび、ニュースレターを発刊することとしました。

創刊にあたり、近畿圏広域地方計画を検討する場である近畿圏広域計画検討会議会長である秋山喜久関西広域機構会長に、近畿の未来や近畿圏広域地方計画への思いをお聞きしました。

近畿圏広域地方計画については、第2号以降で、内容、制度、進捗状況を詳細かつリアルタイムでお知らせします。

Question

## 01 会長として、第3回の検討会議を振り返っていかがですか。

国土形成計画は、これまでの「国が作る」という全国総合開発計画の流れを転換し、全国計画のもとで、地方と国とが対等の立場で広域地方計画を策定するものである。検討会議は、まさにこの地方と国の協議の場であり、ここでの議論の深まりが計画の成否を左右すると言って過言ではない。

3回の会議を通じて、限られた時間ではあったが厚みのある総り多い議論ができたのではないかと。広域地方計画にまず必要な「近畿の目指す姿」について、7つの大きな柱として取りまとめられたが、近畿



秋山 喜久 (あきやま よしひさ)

略歴 1931年生まれ。

1955年東京大学経済学部卒業。

関西電力(株)代表取締役社長、代表取締役会長を経て相談役となる。

2001年～2005年 国土審議会会長を務める。

現在、(社)関西経済連合会相談役などを務めるほか、2007年7月に発足した関西広域機構会長に就任。近畿圏広域計画検討会議会長



第3回の検討会議の様子

関西にふさわしい方向性が示せたものと考えている。関係各位の全体を見据えた熱心な取組みに敬意を表したい。

今、国の地方分権改革推進委員会で第二期地方分権改革の議論が進められているが、分権改革は地方自らが地域の将来を描き責任をもって実践することである。広域地方計画の取組みは、この分権改革を加速する契機となるものであり、そうしなければならぬと考えている。

Question

02

## 7つの柱で近畿・関西らしさを出しえたとのお話ですが、近畿のイメージやポテンシャルについてはいかがお考えですか。

国土形成にとって、今重要な課題は東京一極集中の加速にある。グローバル化が進む中で、日本が枢要なる役割を果たし発展を遂げていくためには、地域それぞれが自らの特色を活かし競い合っていくことが必要と考えている。関西は、その点、他の圏域にはない大きなポテンシャルを有している。7つの柱の一つに、例えば、「アジアをリードする世界に冠たる創造・交流拠点」をあげているが、関西は長くアジアと密接な人的、経済的なネットワークを育んできたことに加えて、空の玄関として日本唯一の24時間空港である関空、海の玄関として阪神港といった大きなストックもある。こうしたポテンシャルを活かして、圏域全体としての総合力を発揮できるよう取組みたい。



関西国際空港

Question

03

## 総合力を発揮してというお話ですが、「関西は一つひとつ」という見方もあります。この点はいかがでしょう。

地域の活力は、むしろ多様性とその協調の中で生まれてくると考えている。「関西は一つひとつ」という言葉について、私としては、関西が地域としてのポテンシャル・多様性を存分に有しているという意味であると理解したい。この多様性を最大限に活かして、地域としての魅力をさらに向上させていきたい。

こうした観点から、関西の自治体、経済団体等が参画する広域連携組織である関西広域機構として、引き続きこれらを有機的につなぐことに力を入れていきたい。

Question

04

## 最後に、これからの近畿・関西の発展に向けて、お考えをお聞かせください。

近畿・関西は、京阪神という日本を代表する大都市圏を抱える一方で、豊かな自然、古来から培われてきた歴史、文化の宝庫でもある。

これらを最大限に活かしながら、近畿・関西の総力を結集して、7つの柱のひとつ「首都圏とは異なる多様な価値が集積する日本のもう一つの中心核」を、誇りとこだわりを持って創り上げていきたいと思っている。皆様方の参加、協力を心からお願いしたい。

### ■ 近畿圏イメージ



### 近畿が変わります Revive KINKI

近畿圏広域計画検討会議が、以下の機関で構成されています。

<府 県> 福井県 岐阜県 三重県 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県 鳥取県 岡山県 徳島県

<指定都市> 京都市 大阪市 堺市 神戸市

<市 町 村> 近畿市長会 近畿ブロック府県町村会

<経済団体等> (社)関西経済連合会 大阪商工会議所 (社)関西経済同友会 関西経営者協会 京都商工会議所 神戸商工会議所 堺商工会議所 関西広域機構

<国の地方支分部局> 警察庁近畿管区警察局 総務省近畿総合通信局 財務省近畿財務局 厚生労働省近畿厚生局 農林水産省近畿農政局 林野庁近畿中国森林管理局 経済産業省近畿経済産業局 国土交通省近畿地方整備局 国土交通省近畿運輸局 国土交通省神戸運輸監理部 国土交通省大阪航空局 気象庁大阪管区気象台 海上保安庁第五管区海上保安本部 海上保安庁第八管区海上保安本部 環境省近畿地方環境事務所

● ホームページでさらに詳しい情報を提供しています。

国土形成計画 近畿圏広域地方計画  
<http://www.kkr.mlit.go.jp/kokudokeikaku/>

アクセスは、検索サイトから

近畿圏広域地方計画

検索